

～かりがね～ 雁が音

雁が音：本校の農場近くの広大な水田に、冬場、たくさんの雁が飛来してくる。その雁の羽音から名づけられた。本校PTA広報誌の名前です。

第23号

発行日：平成28年3月1日

発行者：江戸崎総合高等学校PTA広報委員会

印刷所：倉沢印刷株式会社

生徒数：553名 保護者数：530名 職員数：80名

- ◆ もくじ ◆
- ・PTA会長・学校長あいさつ 1
- ・PTA活動・ボランティア活動報告 2、3
- ・2年次修学旅行 4、5
- ・江陵祭・予餞会・1年次職場体験 6、7
- ・後期行事・北海道実習・農業クラブ 8



PTA活動を振り返って

PTA会長 関谷八重子

卒業生の皆さん、御家族の皆様方、御卒業おめでとうござい
ます。心よりお祝い申し上げます。
また、PTA会員の皆様には
平日頃より温かいご支援・ご
理解を賜り、心から感謝申し上
げます。

特に、今年度は文化祭の一般
公開がありましたので、準備や
運営に多くの会員の皆様にお骨
折りをいただきました。本当に
ご苦労さまでした。

私は、本校のPTA役員とし
て三年間、皆様のご協力をいた
だきながら勉強させていただき
ました。「PTAとは、子ども
が学校に通っている間親も時々
学校に行つて勉強する共有の場
である」ということです。

残りわずかとなりますが、皆
様や学校のお役に立てればと思
います。よろしくお願い致しま
す。

ごあいさつ

学校長 石橋 昇

会員の皆様、本日はご子息の
ご卒業心よりお祝い申し上げます。

我が国は今、人口減少・財政
危機・社会福祉・年金問題など
難題山積の時代を迎えています。
これらの諸問題に対し、その解
決を本当の意味で図っていくの
は若い世代です。卒業生や在校
生が、本校での学校生活を通し
て得た豊かな教養と確かな人間
性を土台として、新しい社会を
創造していくしかありません。
そのためには、異なるものを認
める寛容の心をもち、多くの出
会を通して自分自身を磨いて
いって欲しいと思います。「学
び」はなにも学校の専売特許で
はなく、我々の毎日の生活の中
に存在しているのです。「一日
一生」という言葉がありますが、
今日一日は大切な、かけがえの
ない時間なのだということをお心
がけて欲しいと思います。

これから長い人生行路を切り
開いていく卒業生の皆さん一人
ひとりが、充実した幸せな日々
を送り地域や社会に貢献してく
れることを祈念しております。



PTA活動報告

今年度もPTAでは
様々な行事を行い、
また各種大会等に参加して
きました。ここでは主な
行事・大会について
ご報告いたします。

PTA研修旅行

研修委員長 若泉 文子

校長先生をはじめ総勢四十二名は、台風明けの晴天の中、暑さを吹き飛ばす勢いで学校を出発しました。車中では校長先生から学校の様子などを伺うことができました。また、ビンゴ大会や到着時刻当てクイズなどで参加者全員が楽しみながら移動することができ、あつという間に目的地に到着しました。

旧芝離宮恩賜庭園は三百年以上前から残されている貴重な庭園で、手入れの行き届いた庭は歴史を感じさせる美しい景観でした。お昼はシンフォニークルーズのランチです。東京湾を一周しながらの食事は、普段の慌ただしさを忘れての優雅なひと時となりました。最後はお台場の自由行動です。たくさん食べた昼食分を自由行動で消費させてきました。

とても有意義な一日で「会員相互の親睦を深める」という研修目的を十分に達成することができたと思います。この研修に協力してくださった先生方に感謝し、次年度もこのような研修ができることを願っています。



2015年7月19日、日の出橋にて



PTA関東大会

副会長 塚本 政子

七月八日・九日の二日間、茨城県つくば市でPTA関東大会が開催されました。私は一日目の教育視察に参加しました。学校ごとに色々とコースが分かれていましたが、私が参加したコースは「食と農業、安全コース」でした。つくば市にある、食と農の科学館、食品総合研究所、作物研究所を、各館のガイドの方達に解説していただきました。食べ物を生み出す現場を再現した「環境ジオラマ」や、農具の発展の歴史が分かる資料館などがあり、とても珍しいものを見ることができました。つくば市にはこんなにたくさんの方々が研究されており、中には一般の人が見学できる施設があることに驚きました。



PTA全国大会

会長 関谷八重子

八月二十日・二十一日、岩手県盛岡市で、全国高等学校PTA連合大会が開催され、私と石橋校長先生、川松先生の三人で参加致しました。「未来園からの風をつかめ」新時代を担う君たちと共に」をテーマとして、全体会・分科会が行われました。

一番印象に残ったのは、京都大学院木原准教授の研究発表でした。現実コミュニケーション回避、デジタル認知症という言葉があり、スマホの使いすぎで若年性認知症に至る可能性があると。スマホさえあれば電話番号、地図を覚える必要はない。物を書くことも減り、手を動かさなくなれば脳は退化する。この現実はどう向き合うべきかについての発表は、子ども達だけでなく大人の私たちにも言える事だと思いました。二十一日の映画監督大友啓史氏の「アドリブを生きる力」もとても勉強になりました。

江戸崎祇園祭の巡回指導

例年PTA生徒指導委員会を中心に実施している祇園祭での巡回指導。本年も、七月二十五日の夜に行いました。祇園祭では山車の巡航パレードなど見どころが満載で、例年多くの人々で賑わいます。祇園祭では本校をはじめ近隣の小中学校PTAが巡回を行い、適宜声掛けなどをしながら祭事における問題行動の未然防止に努めています。今年の巡回では特に問題等はありませんでしたが、来年度も巡回指導を行う予定です。



PTA指導者研修会

渉外部 中村 辰雄

九月二十七日、ホテルマロウド筑波にて行われましたPTA指導者研修会に参加してきました。最初に、「親子の絆を深めるために子どもに寄り添う」という表題で、コーチ養成インストラクターの平尾賢弘先生より講演を頂きました。自己イメージをいかに創るかが人生を大きく変える、ということ、演習を交えながら力説されていました。

その後、中央高校と電ヶ崎南高校のPTA活動が報告されました。生徒指導におけるPTAの関わり方や、PTA活動で始めた企画を生徒主体のものに展開していった実践に感銘を受けました。



生徒指導中央研修会

渉外部長 川松 隆宏

平成二十八年一月二十五日、小美玉市四季文化館「みのり」におきまして、生徒指導中央大会が開催されました。今回、善行生徒として三年四組星野江梨さんが表彰されました。中学校一年生から約五年間にわたり、廊下をきれいに掃除したという内容でした。とてもすばらしい行動であり、他の生徒の模範となる表彰でした。

また、「スマートフォンの取り扱いについての取り組み」と「道路交通法改正に伴う生徒の自転車に関する意識について」の研究発表が行われ、各高校とも特色のある取り組みを行い、成果を上げているとの報告でした。

最後に「誇りを持って生きる」と題したオカリナ奏者の宗次郎氏のトークショーも行われ、きれいな音色を奏でながら、曲の背景にある想いを語りながら幻想的な発表を拝聴することが出来ました。

有志ボランティア活動

「誇り」

福祉 増垣 健一

昨年末、一通の手紙が学校に届きました。

「前略 この度の鬼怒川氾濫による常総市の洪水に際し、ボランティアとして応援していただき、ありがとうございます。お陰様でほぼ復旧し、新酒の仕込みも始まり、十二月十五日には初しぼりが出来るようになりました。あの水害から三ヶ月での復興は、皆様の力添えがなければできませんでした。重ねてお礼申し上げます。……」

これは、昨年九月、茨城県常総市災害支援に伺わせていただいた酒造会社の社長様より頂いた手紙です。ボランティア活動に関わり、私は本校の良さを発見しました。現地で支援活動を行う生徒達の姿は、自然体で当たり前のよう現地の方々と明るく接し、笑顔と元気を振りまいていました。学校生活を通じて培われた心が行動に表れ、大きな力となったこの動きは、人々の生活を救うほどのものになり、感謝や感動につながるものになっていました。本校生徒に宿っている「誇り」に魅せられた出来事でした。



自然体験の出来事

4組 山本 喜美

「ありがとうございます。」
民泊の方々とお別れした後、
私達は自然体験に向かった。自
然体験では、陶芸とイルカのふ
れあいをした。陶芸では大と美
ら海のアイドル、ジンベイを作っ
た。きちんと完成しているか心
配だ。イルカのふれあいでは雨
の中、丁寧に説明して下さいた
スタッフの方々のおかげで楽し
い思い出を作ることができた。



修学旅行の思い出

5組 栗山日知翔

私は沖縄に行くのは今回の修
学旅行で三回目になります。初
日には、戦時中に使用されてい
たガマに入りました。最深部で
光をすべて消すと真っ暗で何も
見えず、足場も悪く、沖縄戦で
当時の沖縄の人々はこんなところ
に避難していたのかと思うと、
平和の中で暮らしている我々は
非常に恵まれていると感じました。
2日目のタクシー班別研修や
民泊、その他の観光名所も含め
て、沖縄の修学旅行では、今ま
でのものとは違い、沖縄の文化
や史跡に触れることができ、と
ても良い体験ができました。



修学旅行の思い出

6組 吉田 珠樹

初日はひめゆり平和祈念館や
実際に防空壕に入り、命の尊さ
を学びました。民泊先の花城さ
んは古宇利島のハートロックに
連れて行ってくれました。転ん
でビチョビチョになったことも、
今となつては良い思い出です。
最終日は国際通りを歩き、美味
しい物を食べたりお土産をたく
さん買いました。沖縄での修学
旅行はとても充実していて、私
にとつて忘れられない思い出です。



2016.1月19日(火)～22日(金)

2年

修学旅行

19日 PM：ひめゆりの塔・ガマ入壕
 20日 タクシー研修 美ら海水族館 古宇利島
 21日 農村家業体験 マリン・文化体験 名護
 22日 首里城 国際通り 沖縄出発・高校帰着

平和学習

1組 秋山 悠世

修学旅行初日に行われた平和学習では、私達の知らない戦争の話を詳しく教えてもらうことができました。目を閉じて現地の人々の話を聞いていると、戦争の情景が浮かび上がってくるようでした。

ひめゆり資料館では、当時の人達が残した手紙や資料を読むことができ、生々しい現状を知りました。

修学旅行の平和学習を通して、戦争について深く学ぶことができ、このような戦争を私達は二度と起こしてはいけなと改めて感じました。



国場多津子様へ

2組 小田島佑佳

民泊の時はお世話になりました。

修学旅行のなかでも私にとって民泊が一番楽しかったです！タコライス、ゴーヤチャンプルなどすごくおいしい物ばかりで、自分でも今度作ってみようと思います！夜の海も最高でした。幻想的で、夜に海に行くことはほとんどないのでいい体験でした。帰りに食べたアイスもおいしかったです。ルートビアの味は今でも忘れられないです。でも、けっこうくせになりました。沖縄の色んな事を教えていただいたてすごく勉強になりました。本当にとても良い思い出になりました。ありがとうございました。



修学旅行の思い出

3組 五十嵐 悠

私は沖縄へ修学旅行に行つて、その土地でしか感じられないことと体験ができて、良い思い出になりました。

平和学習では、ひめゆりの塔とヌヌマチガマに行き、太平洋戦争についての話を聞きました。沖縄を舞台にした本土防衛戦で多くの人が犠牲になり、その悲しみを胸に生きていることを知り、戦争の愚かさを改めて感じました。

民泊では、仲松さんの家族に泊めてもらい、沖縄料理を食べたり、三線の弾き方を教えてもらったりして楽しい時間を過ごすことができました。民泊によって沖縄の人の人柄の良さを知って、また行つてみたいと思えるようになりました。



第5回 江陵祭

10月30日(金): 校内発表

10月31日(土): 一般公開

江陵の文化祭、
「江陵祭」！夏休みから準備を
始め、10月に入ると校内は江陵祭
一色になりました。各クラスとも趣向を
凝らしたステージ発表に模擬店、そして垂
れ幕。当日は校内発表、一般公開ともに大
変な盛り上がりを見せました。この日のた
めに周到な準備を重ねてきた江陵祭実行委
員の皆さん、本当にお疲れさまでした。
来年は校内のみの江陵祭となりそう
ですが、今年に負けない盛り上
がりのある江陵祭にしたい
ですね！



校内ステージ発表



一般公開
模擬店&野外ステージ



10月31日(土)の江陸祭2日目は一般公開でした。各クラス・部活動が模擬店や展示発表を行い、天候にも恵まれて多くのお客さまをお迎えすることができました。PTAも例年と同様模擬店を出しました。今年は「いなり寿司」と「豚汁」。朝早くから準備を行い、開店からわずか2時間余りで用意していた300食は完売！ご来店いただいた皆様、本当にありがとうございました。来年度は校内のみになりますが、PTA企画にぜひご期待ください！



生徒会長 五十嵐将海
一月二十九日、体育館にて予餞会が行われました。吹奏楽部の演奏から始まり、三年生を中心にした五団体の有志によるバンド演奏や、準備時間に即興で始まったラップバトルによって体育館全体が盛り上がりました。最後に私たち生徒会で作成したスライドショーを上映し、三年前の合格発表から今までの先輩方の軌跡を辿って頂きました。今年も、インフルエンザに伴う学級閉鎖があり、予餞会当日は少ない人数で開会となりました。不安もありましたが、先輩方のお蔭で盛り沢山の素晴らしい予餞会になりました。ありがとうございました。

予餞会



一月下旬、一年次生が職場体験に行きました。地元の事業所を知ることで郷土に対する思いを改めて認識するとともに、働くことの厳しさと尊さ、自らの興味関心、および適性に合った職業を選ぶことの大切さを知るべく、今年度より一年次生全員を対象に「産業社会と人間」の授業の一環として、事業所ごと



に二日間実施しました。初めて経験する仕事を長時間行い、疲れの色をみせる生徒も多くみられましたが、実習を終えて学校に戻ってきた生徒は一回り大きく成長した様子でした。二年次でも就業体験を実施しています。校外でのこうした活動を通して、悔いの残らない進路選択をしてほしいと思います。

1年職場体験

行事を振り返って 10月～3月



10
October

後期始業式／第3回中間考査
英語検定／江陵祭(一般公開)



11
November

授業公開／総合学科全国大会／創立記念日／漢字検定
生徒会役員選挙／ビジネス文書実務検定／第4回中間考査／履付安全教室

12
December

三者面談／終業式／冬季基礎学力課外
農業クラブ収穫祭／小学生体験講座

1
January

始業式／大学入試センター試験／2年次修学旅行(沖縄)／1年次職場体験
英語検定／3年次スーツ着こなしセミナー／3年次後期期末考査／予健会

2
February

1・2年次後期期末考査
漢字検定／同窓会入会式



3
March

卒業式／終業式

農業クラブ

そば打ち大会

二年四組 大野 瑞季

初めてのそば打ち大会ということで、私たちは出来るだけたくさん練習できるように時間を組み、精一杯練習しました。大会では十位以内には入れませんでした。そば打ちを通して良い経験をする事ができ良かったと思います。



あげもち自慢大会

二年四組 佐々木悠雅

自分達にとって一度だけのあげもち自慢大会に出て、準備ラブリをとることができました。そのおかげで、減多に経験できないテレビ撮影やラジオ出演などができて良かったです。



北海道 体験学習

農業 深沢 侑希

七月二十八日(火)から八月九日(日)までの十三日間、六名の生徒が参加し、北海道農業体験学習を実施しました。この体験学習は職業観・勤労観を啓発し、将来の職業選択に資することを目的としています。今回は三軒の酪農家に受け入れてもらい、それぞれ二名ずつに分かれて宿泊し酪農実習を体験しました。



生徒たちは毎朝早くから牛舎の清掃や牛へのえさやり、搾乳など酪農に関する様々な仕事を手伝って



編集後記

広報委員長 濱田 直美

「雁が音」をご覧頂きありがとうございます。

今年度は前期発行が早く、後期は江陵祭や修学旅行など楽しい行事がたくさんありました。写真も多く、子どもたちと一緒に「こんな行事があったね」と楽しんで見て頂けると嬉しいです。

写真や記事など協力してくださった皆様、委員の皆様には感謝いたします。これから、多くの方々に楽しんで見ていただける素晴らしい広報誌になることを願っています。

いました。また、体験学習中には自然学習を行い、摩周湖や釧路湿原など、北海道の壮大な自然に触れてきました。生徒の実習日誌を見てみると「大変だったけれども特別な体験ができて良かった。」とありました。今回の実習では途中で体調を崩してしまう生徒が出てしまいましたが、最後までやり抜くことができました。この経験を今後の生活に生かしてもらいたいです。